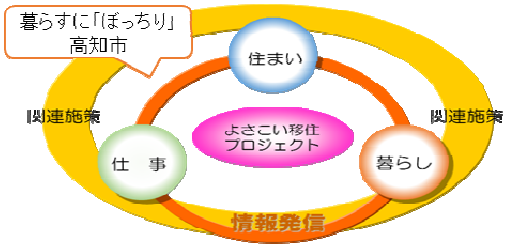
高知市移住・定住促進事業

■ 目 的

移住・定住促進は，高知市総合計画，高知市版総合戦略や人口ビジョン等と連動して実施する「人口減少」への対応策の一つであり，人口の社会増を目指して，新しい人の流れを生み出し，本市の活力とにぎわいを維持・発展させ，移住者や全ての市民にとって「住んでみたい・住み続けたいまち高知市」を実現し，人口減少を克服することを目指しています。

高知市移住・定住促進計画

住んでみたい・住み続けたいまち高知市



【2019(平成31)年度に目指す成果(数値目標)】

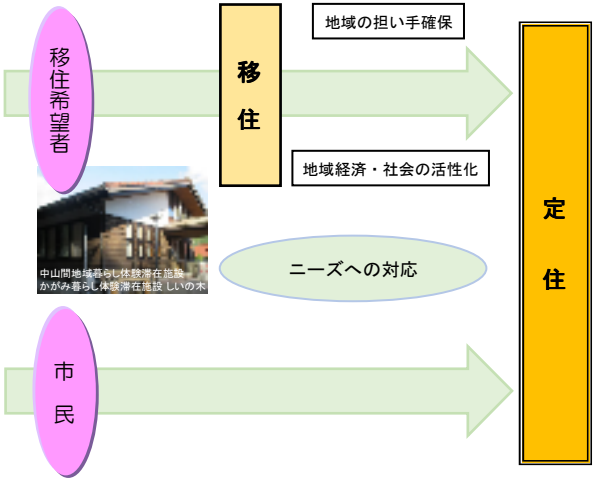
△ 転入の促進　県外からの移住組数 200組

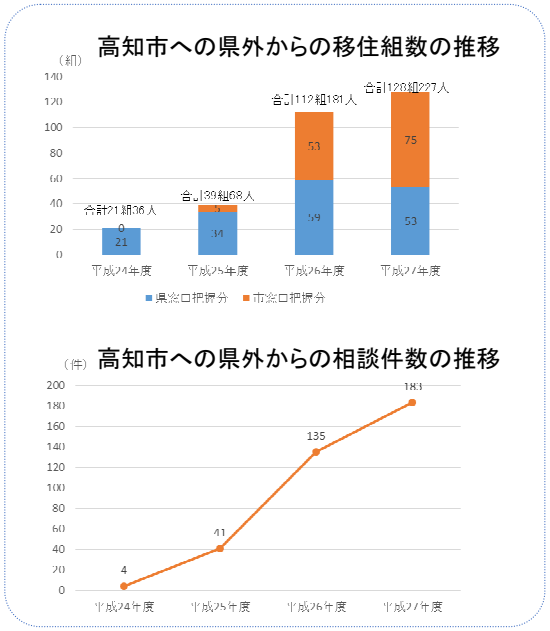
《2015(平成27)年度 県外からの移住組数実績 128組》

▽ 転出の抑制　若者の県外への転出超過数 550人

《2013(平成25)年 若者(15～24歳)の県外への転出超過数762人》

《人口ビジョン目標2030(平成42)年若者の県外への転出超過ゼロ》





中高年齢世代の移住・定住促進

全国第２位！

「50歳から住みたい地方ランキング」

宝島社「田舎暮らしの本」が，誰もがアクティブに安心して暮らせる「生涯活躍のまち」つくりを進める地域（243市区町村 平成27(2015)年11月時点）について，アンケート結果と医療介護データによるランキングを行った結果，高知市が，「50歳から住みたい地方ランキング」で，全国第2位。

『移住者限定の施策は少ないが，移住してしまえば高知市民，高齢者福祉の手厚さなどを享受できることに変わりはない，高知市は普通に住みやすい』と紹介されている。【2016年8月号（7月2日発売）】

キャッチコピー　暮らすに「ぼっちり」高知市

※「ぼっちり」とは，土佐弁で「ちょうどよい」という意味です。

高知市生涯活躍のまち構想推進委員会

（27.10.9設置・庁内委員13人）

国の構想における基本的な考え方や制度化を踏まえ，県と連携し，本市の生涯活躍のまちづくりでの方向性や具体的な役割等の基本方針を検討中。

子育て世代の移住・定住促進

高知市三世代同居等Uターン支援事業

（平成28年度新規事業）

三世代同居等となる子育て世帯の移住・定住を促進することを目的に，子育て支援や老後の不安解消等，お互いに助け合いながら暮らせる安心のまちづくりを目指して，三世代同居等となる子育て世帯の県外からの転入費用や定住費用を支援する「三世代同居等Uターン支援事業」を実施する。

荷物の運搬に要する引越事業者への支払額 **補助金限度額　10万円**

転入費用 ＋ 定住費用

不動産取得時の建物に係る登録免許税 **補助金限度額5万円**

または

住宅の賃貸借契約に係る仲介手数料 **補助金限度額5万円**

＝ **1世帯あたりの補助金限度額 15万円**

広域連携

高知中央広域移住・定住PR事業

（平成28年度新規事業）

県中央部に位置する高知中央広域自立圏を構成する4市（高知市・南国市・香南市・香美市）の圏域は，高速道路や主要幹線道路，鉄道，空港など交通網の結節点にあたることから，移住促進の優位性の一つとして連携し，効果的な情報提供等を目的として首都圏での移住相談会や，4市での移住体験ツアーを実施する。

よさこい移住プロジェクト

移住に向けた取組は全国各地で行われており，その中で移住先として選択されるには，移住者のニーズに応えることと共に，その地域の特性や魅力を前面に打ち出した特色ある取組が必要である。そこで，他都市にはない，本市の強みである「よさこい祭り」を前面に打ち出し，よさこいを愛する方々をメインターゲットにした移住希望者，移住者を支援する。

■ よさこい移住に関する実態把握調査

第63回よさこい祭り参加チームを対象に実施

■ よさこい移住応援隊

よさこい祭りをきっかけに高知へ移住してきた方を

高知市よさこい移住応援隊員として，平成26年度に

7人，平成27年度に4人委嘱。よさこい移住相談会，

大都市圏でのよさこい移住セミナー等での連携

■ よさこい移住相談会

平成28年7月16日(土)・8月9日(火)・11月15日(火)

平成29年3月初旬（予定）

高知よさこい情報交流館

今年もやります！
高知市役所踊り子隊
「移住者・移住希望者枠」